

「塑性と加工」 INFORMATION

投稿規定・執筆要領・原稿見本

平成 23 年 4 月 1 日 改定

社団法人 日本塑性加工学会

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-13-11 Y・S・K ビル 4 階

電話 (03) 3435-8301

Fax (03) 5733-3730

本冊子は、「塑性と加工」の INFORMATION 欄への投稿規定および執筆要領についてまとめたものです。論文系原稿及び解説系原稿のそれらについては、別冊の「塑性と加工」論文系原稿投稿規定・執筆要領、及び「塑性と加工」解説系原稿投稿規定・執筆要領をそれぞれご覧ください。

「塑性と加工」INFORMATION 投稿規定・執筆要領・原稿見本目次

投稿規定

1. 投稿資格	・・・2
2. 原稿の責任	・・・2
3. 会告原稿の種別と内容	・・・2
4. 原稿の形式	・・・2
5. 原稿の提出, 校正・審査	・・・2
6. 掲載料	・・・3

執筆要領

・・・4

付録（原稿見本）

付録 1. 塑性加工シンポジウム等企画委員会等企画行事案内	・・・5
付録 2. 支部, 分科会等行事案内	・・・6
付録 3. 出版物等販売案内	・・・7
付録 4. 教員等任材募集原稿見本	・・・8
付録 5. 企業技術者・研究者公募原稿見本	・・・9

【改訂履歴】

2010.7.1 1. 2 体裁 (1), (2) 追記

2011.4.1 5. 表 2 1・2 の締切日を変更

本規定は、日本塑性加工学会誌「塑性と加工」の INFORMATION 欄へ記事を投稿する場合の諸規則を示したものである。

1. 投稿資格

(社) 日本塑性加工学会の本部、各委員会、支部あるいは分科会等の学会内組織、あるいは賛助会員、正会員、学生会員および名誉会員は本学会誌「塑性と加工」INFORMATION 欄に記事を投稿することができる。

2. 原稿の責任

2.1 会誌に投稿された記事の内容についての責任は著者が負う。

2.2 会誌に掲載された記事の著作権は、本会に属する。ただし、著者自身の利用は妨げない。

3. INFORMATION 原稿の種別と内容

3.1 会誌に掲載する記事は、本会に関連した内容であるものとする。

3.2 INFORMATION 原稿は表 1 に示すものに分類される。

4. 原稿の形式

原稿は本投稿規定・執筆要領および原稿見本に従って書く。採択された原稿はオフセット印刷によって会誌に掲載することを原則とする。

5. 原稿の提出、校正・審査

5.1 原稿は本会編集委員会あてに提出する。提出するのは、「ワープロの電子データ」および「印刷原稿 1 部 (FAX 可)」とする。

表 1 INFORMATION の各項目名と内容

	項目名	内容
1	企画行事予定表	学会 (分科会、支部、地区委員会等を含む) が主催または共催する行事名 (具体的なテーマを含む) とその開催期日、開催場所を掲載する。なお細目 (プログラム等) が未定でも行事名と期日、場所が決定した段階で掲載する。
2	会告	学会方針の決定事項の周知徹底をはかる通達等。総会、春季講演会、連合講演会の案内等。
3	主催、共催行事	本部が主催または共催する各種行事の案内。 主催、共催の順とし、各々のなかでは開催期日順とする。また、主題を見出しで明示する。
4	支部・地区委員会から	支部・地区委員会総会および行事の案内で、主催、共催行事の案内に準ずる。
5	分科会・研究委員会から	各分科会・研究委員会が開催する行事の案内、お知らせ等。
6	委員会から	出版事業委員会からの出版物のお知らせ、編集委員会からの原稿公募、特集号の予告、その他のお知らせ、呼びかけ等。
7	協賛行事	本会が協賛、後援する行事の案内。
8	大学等が主催する講演会	大学等が主催する講演会の中で塑性加工に関わるもの
9	教員および企業技術者・研究者等人材募集	学校、公益法人、官公庁およびその研究機関等の教員、企業の塑性加工関連技術者・研究者等人材募集。
10	事務局から	新入会員 (所属)、新入賛助会員 (代表者名)、会員訃報、会費、バックナンバー等。
11	会議室予定	学会会議室の使用状況を知らせる。発行月と翌月 (予定) の 2 ヶ月分を掲載する。
12	その他	本会の動きを伝える事項。

5.2 原稿の締め切りは表2の通りとする。

5.3 掲載の可否は編集委員会が決定する。なお、不採択と決定した場合には理由を付して著者に通達する。

5.4 編集委員会は提出された原稿に対し、内容および体裁の照会を行うほか、訂正、短縮あるいは加筆をもとめることがある。これらを求められた場合、指定の期日まで、

訂正を行って5.1節に示したものを再提出する。

6. 掲載料

掲載料は表3に示す通りとする

表2 原稿の締め切り日

項目名	締切日
1 企画行事予定表	掲載号発行の1ヶ月前の10日
2 会告	掲載号発行の1ヶ月前の10日
3 主催、共催行事	掲載号発行の1ヶ月前の10日
4 支部・地区委員会から	掲載号発行の1ヶ月前の10日
5 分科会・研究会から	掲載号発行の1ヶ月前の10日
6 委員会から	掲載号発行の1ヶ月前の10日
7 協賛行事	掲載号発行の1ヶ月前の10日
8 大学等が主催する講演会	掲載号発行の1ヶ月前の10日
9 教員および企業技術者・研究者等人材募集	掲載号発行の1ヶ月前の10日
10 事務局から	掲載号発行の1ヶ月前の10日
11 会議室予定	掲載号発行の1ヶ月前の10日
12 その他	掲載号発行の1ヶ月前の月末

表3 掲載料

項目名	掲載料
1 企画行事予定表	無料
2 会告	無料
3 主催、共催行事	～1/2 ページ 5,000 円/件
	1/2～1 ページ 10,000 円/件
4 支部・地区委員会から	～1/2 ページ 5,000 円/件
	1/2～1 ページ 10,000 円/件
5 分科会・研究会から	～1/2 ページ 5,000 円/件
	1/2～1 ページ 10,000 円/件
6 委員会から	～1/2 ページ 5,000 円/件
	1/2～1 ページ 10,000 円/件
7 協賛行事	無料
8 大学等が主催する講演会	～1/2 ページ 5,000 円/件
	1/2～1 ページ 10,000 円/件
9 教員および企業技術者・研究者等人材募集	～1/4 ページ 15,000 円/件
	1/4～1/2 ページ 30,000 円/件
	1/2～1 ページ 60,000 円/件
10 事務局から	無料
11 会議室予定	無料
12 その他	別途定める

「塑性と加工」 INFORMATION 執筆要領

平成 22 年 7 月 1 日 改定

社団法人 日本塑性加工学会

本要領は、日本塑性加工学会誌「塑性と加工」に
会告を投稿する場合の原稿作成方法について示した
ものである。提出され採択された原稿はそのままオ
フセット印刷されるため、以下に示す書き方に準拠
して原稿を作成することを原則とする。

1. 投稿原稿の用紙および体裁

1.1 用紙

A4 白紙を使用する。

1.2 体裁

(1) 1 段組原稿（主催、共催行事など） 1 ページは 1
行 54 文字×54 行とし、マージンは上下を 20mm、左右
を 20mm とする。ただし 1 ページ、もしくは半ページに
必ず収めること。

(2) 2 段組原稿（支部、地区委員会からなど） 1 ペ
ージは 1 行 26 文字×54 行×2 段組みとし、マージンは上下
を 20mm、左右を 20mm とし、段間は 8mm あける。

情報が多しなど止むを得ない場合は、(1) の 1 段組原
稿を使用しても可とする。ただし、どちらの書式を用いて
も 1 ページ、もしくは半ページに必ず収めること。

注 1) 原稿見本のテンプレート（本会ホームページからダ

ウンロードできる）を利用して作成する。

注 2) 原稿には、5 行おきに行番号を記入する。

1.3 本文の書き方

(1) 字体 本文の字体は明朝体を基本とする。

(2) 文字の大きさ 本文の文字の大きさは、9～10 ポイ
ント(3～3.5mm)の使用を原則とする。また、欧字・数字
は半角文字を原則とする。

(3) 句読点 句読点は「。」「、」ではなく、「。」、「、」（ピ
リオド、コンマ）を用いる。

2. 注意事項

(1) 1 ページ未満の余白の処理 余白ができる場合には、
本文を 2 段均等に割付け、下部 2 段を通して余白部を示
す横線を挿入する。

(2) 印刷仕上がりの美観 原稿はそのままオフセット印
刷する。オフセット印刷として不適当な場合には、作成し
直してもらうことがある。

(3) 原稿見本 原稿は付録の原稿見本（本会ホームペ
ージのテンプレート利用）に基づき作成する。ただし、見本
がないものに関しては、付録見本に準拠するか、事前に編
集委員会に相談して書き方を決める。

付録1 塑性加工シンポジウム等企画行事案内の原稿見本

第〇〇〇回塑性加工シンポジウム(ゴシック強調 12pt)

年号表記

「ここまで利用できる超音波」(明朝 16pt)

見出し標準 4 行ドリ

ソロエル

—〇〇〇〇〇〇〇〇〇—(明朝 14pt)

日〇時：平成 12 年 11 月 4 日(土) 9:20~17:00

会場：一関工業高等専門学校 [〒021-0902 岩手県一関市萩荘字高梨 電話 0000-11-2222] (所在地は[]で囲む)

主催：日本塑性加工学会(実行：超音波応用加工分科会)

協賛：軽金属学会，精密工学会，電気通信情報学会，日本音響学会，日本機械学会，日本金属学会，日本材料学会，溶接学会，日本金属プレス工業協会，粉体粉末冶金協会，自動車技術会，素形材センター

趣旨：近年，生産加工においては，従来にない高精度な加工，特殊な加工あるいは環境にやさしい加工が要求されている。それらの要求に応えうる加工法の一つとして超音波振動エネルギーを利用した加工法が注目されている。そこで本シンポジウムでは，それらの生産加工に対し超音波がどの様に利用でき，実際にどこまで加工性能向上が図れるのかについて最新的话题をふまえて討論し，将来にわたっての適切な利用法について検討する。

プログラム：開会の辞(9:20~9:30) 超音波応用加工分科会主査 村川 正夫君
午前の部(9:30~12:00) 司会 日本工業大学 神 雅彦君
午後の部(13:00~16:40) 司会 東京都立産業技術研究所 加藤 光吉君
総合討論(16:40~17:00) 司会 ノンク 佐藤 隆君

20mm

20mm

原則 9 P
分量により 8 P

中細罫線(他は表罫線)

表組は原則 9 P (8 P 可)

見出し G

表の最終ラインにソロエル

時間	内容	講師
9:30~11:00	超音波応用加工技術の現状と将来 (ゴシック強調 9pt)：塑性加工，切削加工などの生産加工に超音波がどの様に利用でき，どの様な効果が期待できるのかについて，現状技術および将来の可能性を概説する。(明朝 9pt)	日本工業大学 氏名 5 字ドリ □機械工学科 村川□正夫君
11:00~12:00	バットパイプの超音波引抜き加工 ：肉厚が内，外方向に変化したバットパイプを引抜き加工することは難しい。ダイスやプラグを超音波振動させながら加工することにより，加工の容易化，工程の簡略化，潤滑性の向上，製品の特性向上等を期待できることが明らかになったので，その研究概要を発表する。	湘南工科大学工学部 □電気工学科 井上□昌夫君
12:00~13:00	昼 食 ・ 休 憩	
13:00~14:00	超音波振動を利用した積層材の穴開け加工 ：超音波振動を加えながら積層材の穴開け加工を行い，積層面での剥離を防止する方法の可能性について概説する。	都立工業高等専門学校 機械工学科 青木□□繁君
14:00~15:00	超音波振動切削加工 ：超音波振動を利用した切削加工法に関して，切削装置および切削性能についての最新技術と今後の利用動向などについて概説する。	日本工業大学 機械工学科 神□□雅彦君
15:00~15:10	休 憩	
15:10~15:50	超音波ねじり振動によるマイクロ焼結ダイヤモンド工具の研削加工 ：直径 0.3mm 以下の微細穴超音波加工に用いる耐摩耗性の高い焼結ダイヤモンド工具製作のために開発した超音波研削装置とその研削特性および工具寿命等について概説する。	日本電子工業(株) 開発部 小玉 満君
15:50~16:40	超音波微振動複合加工システムによる微小径ドリル加工 ：独自の超音波振動系により微小径の穴加工の実用範囲を拡大した超音波スピンドルユニットおよび加工工具について概説する。	(株)岳将 役職は記載しない 代表取締役社長 岳 義弘君
16:40~17:00	総合討論 司会 (株)ノンク 佐藤 隆君	

定員：70名(定員超過の場合はご連絡します。)

参加費：	事前申込(10月28日必着)	10月29日~当日
会員	8,000円	10,000円
一般	12,000円	15,000円

(注)参加費にはいずれもテキスト代含む。学生は半額。協賛学協会は会員扱い。10月28日(必着)までにお申込みください。テキストのみは行事終了後残部があれば対応。氏名と君の間はあけない

申込方法：学会ホームページ (http://www.jstp.or.jp) 【行事のご案内】のページよりお申込みください。

参加券，請求書等をお送りします。なお，お支払いは請求書到着後2週間以内にお願いたします。

申込先：日本塑性加工学会[〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-11 Y・S・Kビル4階] 電話03-3435-8301 FAX03-5733-3730

問合せ先：同上

ソロエル

開催日の1週間前

20mm

教科書「塑性加工入門」 および 教育ビデオ「塑性加工のはたらき」 (DVD 復刻版) 会員特価販売のお知らせ

このたび、コロナ社から日本塑性加工学会編「塑性加工入門」が出版されました。

塑性加工は、日本の経済を支えてきた世界に誇れる技術ですが、現在その技術の継承についての課題と、その解決のための工夫や努力が払われてきています。その方法の一つとして、若年層(大学生、高専生から高校・中学生)に対する塑性加工のおもしろさを伝えることの重要性も指摘されているところです。

本書は、この目的のため、難解な数式はなるべく用いず、図表や製品例を多用することで塑性加工をわかりやすく、しかも限られた時間で効率よく講義しやすい、教科書として好適な内容・構成としました。さらに、現在の塑性加工には欠くことのできない有限要素法の概説や、最近の塑性加工技術についても紹介されています。

また1983年に製作され各種塑性加工プロセスをビジュアル化したビデオとして評価の高かった「塑性加工のはたらき」をパソコンでも利用できるようにDVDとして復刻いたしました。100枚限定ながら1000円という低価格で販売いたします。塑性加工の初学者には「塑性加工入門」の副教材として利用することをお勧めします。

ご購入をご希望の方は、本FAX用紙もしくは電子メール(jstp@jstp.or.jp)にてお申し込み下さい。

FAX: 03-5733-3730

平成 年 月 日

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 Y・S・Kビル

(社)日本塑性加工学会 出版事業委員会 行 (電話 03-3435-8301)

● 「塑性加工入門」 (コロナ社)

日本塑性加工学会会員 価格 2,850円(税込) × 冊 = 円

一般 価格 3,150円(税込) × 冊 = 円

● 「塑性加工のはたらき (DVD版)」

学会会員および一般 価格 1,000円(税込) × 枚 = 円

(合計金額が5,000円以上は送料無料, 5,000円以下の場合には実費を請求させていただきます)

● 会員資格: 名誉会員・正会員・賛助会員・学生会員・一般 (該当するものに○)

● 会員番号: _____

● 氏名 _____ 印

● 勤務先住所: 〒 _____

● 勤務先 _____

● 所属部課 _____

電話 () FAX () e-mail _____

● 支払方法: 振込 (振込予定日 月 日) 現金書留 (○で囲んで下さい)

● 振込先: 振替 東京 00220-9-14492 口座名義(社)日本塑性加工学会 (振替用紙同封します)

● 通信欄・見積書、請求書、納品書 が必要 (必要書類を丸で囲ってください。)

・ 商品送付先が上記住所と異なる場合は、下記にご希望の送付先をご記入下さい。

